

# Youngbuilder

## ヤングビルダー

http://www.doken-fk.com/  
http://tokyodoken-fk.cocolog-nifty.com  
TEL 042-363-6554

東京土建一般労働組合府中国立支部 青年部 第45号(2012年8月29日)発行責任者 渡邊浩志

### 京都・大阪建築物見学

今年京都と大阪に行ってきた。日頃の生活を一旦忘れ色々な所で新しい発見をし、感動を貰った3日間はとても刺激になりました。以下は感想です。

#### 部長 渡邊 浩志

今年の京都大阪ツアーでは、様々な建築物に触れ、沢山の思い出を作ることが出来ました。1日目、2日目は京都巡り。初日は三十三間堂や清水寺、祇園

時代独特の簡素明快な木造建築を見てきました。清水寺は清水の舞台とも言われている建物の前半部分が山の斜面にせり出すように建てられていて、それを支える長大なケヤキの柱がとても印象的でした。祇園では京都ならではの風情を味わうことが出来ました。夜の懇親会では参加者全員が見学してきた建物について意見や感想を話し合いながら楽しい時間を過ごしました。2日目は金閣寺、銀閣寺、八坂神社、池田屋跡をまわりました。印象的だったのが金閣寺の庭園と銀閣寺の庭園です。金閣寺にある松は足利義満が植えたといわれています。京都三松の一つでもある舟形をした陸船の松がとても立派でした。また以前テレビで見た銀閣寺の銀沙灘、向月台もテレビで

に行きました。まず三十三間堂では鎌倉

#### 京都タワー



堀江 美紀 三浦 康廣 渡邊 浩志 神崎 斗志

も印象的でした。祇園では京都ならではの風情を味わうことが出来ました。夜の懇親会では参加者全員が見学してきた建物について意見や感想を話し合いながら楽しい時間を過ごしました。2日目は金閣寺、銀閣寺、八坂神社、池田屋跡をまわりました。印象的だったのが金閣寺の庭園と銀閣寺の庭園です。金閣寺にある松は足利義満が植えたといわれています。京都三松の一つでもある舟形をした陸船の松がとても立派でした。また以前テレビで見た銀閣寺の銀沙灘、向月台もテレビで



見た庭の手

入れ作業などを思い出しながら実物を見ると、職人芸の凄さにとっても驚かされ感動しました。

最終日の3日目は大阪城へ行きました。黄金の茶室は壁、天井、柱、障子すべてが金張られていて、とても印象的な一室でした。また展望台から見渡す大阪のま



大阪城

ちも絶景でした。今回のツアーを通して、京都、大阪には素晴らしい建築物がたくさんあると改めて感じる事ができました。中学生の修学旅行で見学した頃とは見る視線も変わり、違う視点で風情がある建築物を見て、建物を建てる同じ職人としては興味深い建物ばかりでした。2泊3日では回りきれなかったもので、また勉強しに行きたいと思います。



清水の舞台

#### 書記次長 関谷 勇歩

京都大阪ツアーでは元離宮二条城と清水寺、伏見稲荷大社、比叡山延暦寺をまわりました。二条城は大政奉還が行われた場所です。建築の仕様では驚きがあり有名です。どここの部屋や門にも豪華な彫刻、飾金具がありました。残念ながら二条城二の丸御殿の大広間(世界遺産)は見られませんでした。次に行ったのは清水寺です。清水寺と言えば舞台です。舞台は急な崖の上に釘を一本も使わずに組み上げた木造建築です。舞台は四階建てのビルの高さ位で長いものだといわれる。柱を使っているそうです。

した。駅から本殿など、敷地内にある建物が朱色に塗られていました。千本鳥居はCMで見ると以上に本堂にどこまでも鳥居が続くような異空間に居るようでした。延暦寺は仏教の天台宗で総本山です。建築物は世界文化遺産です。歴史上は、織田信長が焼き討ちにしたのが有名です。延暦寺は山の上にあります。東塔、西塔、横川といわれる三つの地域に分かれていました。根本中堂は堂の中が珍しい造りになっていて信者や一般人が参拝するところと仏様が同じ目線になるように造られていました。仏様と信者が平等であるという意味があるそうです。京都に行きたいと思うのが10年越しだったのが感想と言えないかもしれません。昔の人の考えたりや考え方など今じゃ考えられないものだったのかなと思えました。また機会があれば京都を巡りたいと思います。



祇園の小路

行った日はあいにく雨でしたが、テレビや雑誌で見た光景よりも綺麗でした。まずは建物。僕は木工ではないけれど、釘を使わずに大きな建物、舞台などを造る技術に驚きました。建物には細かな彫り物などがあり一つ一つ手彫りで機械を使ったものとはまったく別の、木を活かした細工などに口が空きました。それは金閣寺(鹿苑寺)などでも終始空きっぱなしでした。「清水寺の舞台から飛び降りる」と言うことわざがあるのを知っていて、実際に目で見て意味を実感しました。そういう事を知らずに行くのと、知ってから行くのではその場所を見る視線がだいぶ違うと実感しました。



二条城 二の丸御殿

りないです。機会があれば秋の紅葉が綺麗な時にまた違う顔をした京都を見たいです。

#### 副部長 神崎 斗志

京都に着き、まず行ったのが三十三間堂。中学生の時に修学旅行で京都に来た時は何も感動もなかった歩いたであろう道、ものの10分で終わった三十三間堂、なんと1時間。大人になり学習する気持ちで歩いたその道は、時間を忘れてしまうぐらい興味深く有意義な道でした。金閣寺、銀閣寺とお寺まわりをして、それぞれの寺の意味を知り。大人

になった私は京都にぞっこんになりました。また、庭の手入れ、お堂の管理、仏像の保管などにどれだけお金と時間が掛かり、大変なのかを聞き京都の大切さを痛感しました。我々、職人の目から見る建築物などの凄さ、感動しありません。2日目にタクシーに乗った時、いつもは観光タクシニー業をしている運転手さんに出会い京都がどれだけ歴史のある街か、どれだけ自分達を誇りをもっているかを教えてくれました。私たち日本人はみなもつと歴史を重んじ、自国に誇りを持ち生きて行くべきだと改めて感じた学習ツアーでした。

副部長 三浦 康廣  
僕は修学旅行でも京都、大阪に行ったことが無く、土地勘など全くない状態でした。なので青年部で京都、大阪に行ったことがある仲間話を聞き有名所を回るプランを立てて京都を見学しました。三十三間堂、清水寺、金閣寺(鹿苑寺)銀閣寺...など回りましたが、なんせ1カ所回るのに最低1~2時間は欲しいので移動時間など考えたら複数回るのが大変でした。中でも僕が一番行きたい場所、目に、心に焼き付けたいのは、清水寺です。

最後に言えるのは、京都を巡るのに2泊ではとても足



銀閣寺 向月台

伏見稲荷大社  
Mで有名鳥居を見に行きま



伏見稲荷神社 千本鳥居

関谷 勇歩

田中 啓友

書記長

田中啓友

僕は、旅行で京都は初めて訪れる場所だったので行く前からワクワク、ドキドキが止まりませんでした。初日と2日目は3人で行動し、世界文化遺産にも指定されている「元離宮二条城」「音羽山の清水寺」「伏見稲荷神社」の千本鳥居、世界文化遺産の比叡山の延暦寺を見て回りました。



比叡山延暦寺

いものばかりでした。そのなかで僕が特に強く感じたのが伏見稲荷神社で、建物の造りも繊細で技術も素晴らしい、朱色に輝き鮮やかでこんなにも綺麗なものが昔からありそれが形を変えず僕の目の前にあるということにすごく衝撃と共に感動が沸きました。そしてさらにその奥にある千本鳥居は圧巻で、先が見えないほど続く朱色の鳥居の迫力、鳥居の中を歩くと自分が朱色に染められているみたいな不思議な感覚とても神秘的な世界にいるような感じで心を奪われました。今回の旅で僕は、見るだけでこんなにも心を動かされる建物や場所があるという事、それを維持するには色々な人々が頑張っているという事、それを守り抜く技術、を深く感じたと思います。これを読んでくださった方、京都という伝統ある素晴らしい場所へ是非足を運んでいただいで色々な事を感じ、学び、感動していただけたらと思います。とてもよい旅でした。

部員堀江 美紀

一日目に行った所は三十三間堂、清水寺、祇園です。まず三十三間堂は南北に125メートル、幅25メートルの長く大きな木造建築で本瓦葺き、入母屋造りの中に千体の千手観音像や風神雷神、二十八部衆、中尊千手観音坐像がありとても迫力がありました。次に訪れた清水寺では清水の舞台で知られる本堂は寄棟造りで檜皮葺、寝殿造りの優美な建築で十一面千手観音立像が置いてありました。舞台の裏には音羽の滝がありたくさんの人々が清めていました。舞台の奥に行くといえんむすびの神さままで知られている地主神社がありました。右と言う一方の石から目を閉じて歩き反対側の石に無事にたどり着けると恋の願いが叶うという石でお参りをしました。最後に祇園では今でも昔の家や店が残っていました。雨と言う悪天候の中でしたがとても楽しかったです。



新選組めぐり。新選組めぐりとして、新選組に関わる場所に行きました。まず新選組の3番目の屯所として使われた西本願寺に行きました。西本願寺は門をくぐって御影堂があり通路を挟んで隣に阿弥陀堂がありました。とても広く大きなお寺でした。次に新選組が最初に屯所として使っていた場所の一つ、旧前邸に行きました。現在一般公開はしていませんが、土曜日ということでしたが中に入る事ができました。作りは昔とあまり変わらない様で古い作りのままでは今はグッズの販売をしていました。旧前邸の斜め前に八木邸と言う新選組の主な戦士が使っていた場所に行きました。中に入ると座敷があり芹沢鴨初代局長暗殺の場所にて新選組の話が聞きました。八木邸には暗殺時に残された刀傷等があり現在は指定有形文化財として残されています。最後に隊士が剣の稽古に使っていた壬生寺に行きました。大雨で大変でしたが、新選組の事を良く知れて良かったです。



比叡山延暦寺

副部長北村 真宏

7月20〜23日の3日間、青年部では9名で京都、大阪の建築物見学に参加した。天気は生憎の雨だったが、かえって涼しかった。初日は数人ずつ車に乗合い新横浜で新幹線に乗り換えて京都に向かった。午後は雨の中二手に別れ、僕たちの班は三十三間堂に向かった。約750年前、飢饉や戦で荒れた平安の街を治めるために建てられた寺院には、当時の最先端の建築技術がふんだんに使われている。すり鉢状の石に柱を載せるだけという大胆な基礎、揺れに対して遊びを持たせた梁、主柱と梁の接合部を重厚にし強度を上げた、いわゆる「ラーメン工法」を木で行ったような造りなど



清水寺 地主神社

副部長北田 学

突然のゲリラ豪雨。7月20日から京都・大阪に向かう新幹線の中で見た外の景色でした。色々と見て回りたいのに、先が思いやられる…。と、そんな事を思いながら、あつという間に京都駅に到着。着いた頃には雨も上がっていました。まずは、元離宮二条城へ。二条城は徳川家康が築城し、徳川慶喜が大政奉還を發表した歴史的な場所。とにかく、建物の造りに圧倒されました。廊下は歩くとキュッキュッと軋む響きと目かすがいと釘がすれ合うことで音が生じる仕組みで侵入者の存在を知らせるための警報装置だったそうです。音が鳴らないように歩いてみたものの絶対に



北田 学

音が鳴るのでこれを体験したい人は是非二条城へ。次に、清水寺へ。清水寺に着いた頃には雨もパラパラ降ってきて、天気がいい時は大阪まで見えるという舞台からの眺めを見たかったけど、見れなかったのが残念でした。それにしても清水寺の造りがすごい。特に圧倒されたのは舞台を支えている土台。139本のケヤキで組まれた精密な木組みで支えられていて、釘を一本も使っていないで組まれた土台は凄かったです。次に伏見稲荷神社へ。鳥居で道が出来ていて、すごい鳥居の数に驚きました。本殿まで到着すると裏から稲荷神社まで続く約5000基の鳥居があったのですが、お散歩コースで2時間と書いてあって、時間が無かったので行けません。またいつか時間が出来た時は山頂まで歩いてみたいですね。大阪へ移動し、ホテルのチェックインまで時間がまわってみたいですね。